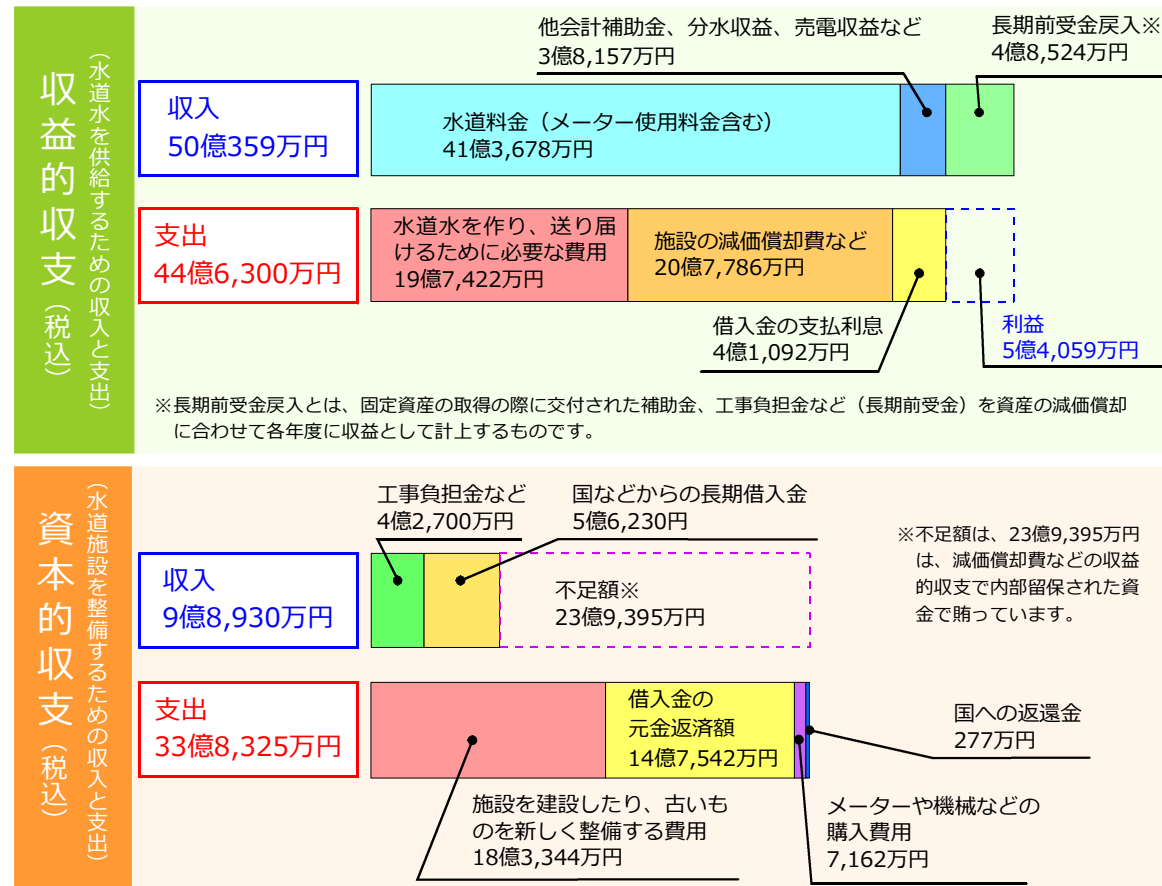


令和元年度 水道事業会計決算のあらまし

水道事業会計は、『収益的収支』と『資本的収支』に区分されており、令和元年度の決算は次のとおりとなりました。



令和元年度に実施した事業概要

「徳島市水道ビジョン2019」に基づき、「安全・強靱・持続」を施策の3本柱とし、「未来につなぐ水都とくしまの水道」を目指して事業運営に取り組みました。

安全

- いつでも安心して使える水道水をお届けします
- 水道GLP (水道水質検査優良試験所規範) を取得。
- 鉛製給水管取替工事助成制度や、配水管修繕工事等により、858件の鉛製給水管を解消。
- 水質事故発生時に迅速な対応を行うためのマニュアル策定。

強靱

- どんなときでも供給できる強靱な水道を目指します
- 管路の更新・耐震化事業として、西の丸系送水管の一部(管路延長239m)を更新。
- 重要給水施設配水管の耐震化及び、老朽管更新事業などを実施。
- 管路の耐震化率
管路全体…36.0%
基幹管路…46.9%
重要給水施設配水管…82.8%

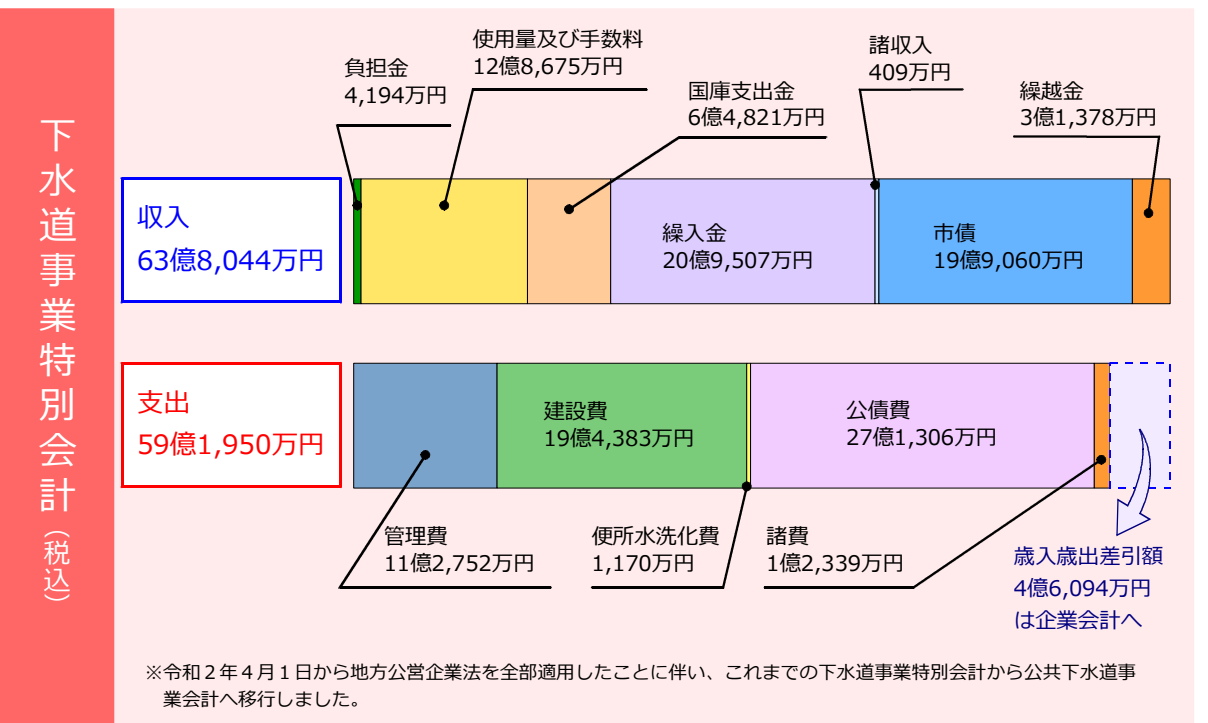
持続

- 将来にわたり運営可能な水道を目指します
- 水道料金等徴収業務の包括委託や、配水管工事設計業務委託の拡大など、民間活力を活用。
- スマホ決済での水道料金等の収納を開始。
- 太陽光発電設備による、収益の確保や商用電力量の削減。

令和元年度 下水道事業特別会計決算のあらまし

下水道事業特別会計は、令和2年度3月末で打切決算を行いました。

歳入は63億8,044万円、歳出は59億1,950万円となり、歳入歳出差引額4億6,094万円については、全額を公共下水道事業会計(企業会計)へ引き継ぎました。



令和元年度に実施した事業概要

● 下水道管渠整備事業

汚水処理の未普及解消に向けて、公共下水道事業認可区域の北部処理区において約4,660mの管渠を整備しました。
また、汚水処理人口普及率の向上に努めるため、下水道への接続助成事業などを行いました。

● 下水道施設改築更新事業

適切な維持管理を図るため、中央処理区等での汚水処理場・ポンプ場などの老朽化した施設の改築・更新を進めました。